



おもちゃ箱つだぬま 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2025年3月31日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		・建物の構造上難しいが工夫が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・定期的に床マットの敷き替えを行っている。 ・毎日トイレやフロアの掃除を行っている。	・療育しやすいように、もう少しわかりやすく整理したい。 ・毎日掃除はしているが、年4回は大掃除をしたほうがいい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・2階も使用できるようになっている。	・建物の構造上難しいが、マット等で個別になる空間を作っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・ミーティングにより共有されている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・モニタリングや、年1回アンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティング等で共有している。 ・ミーティングでの議題、議事録により、把握改善につながっている。 ・職員の個別面接を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・保護者評価から改善につなげるようにしている ・保護者評価を元のできる範囲で工夫している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・研修を企画したり、職員主体で行っている ・事業所で行っている。	・全体での研修は開催されている。任意参加の研修等受ける機会が増えればありがたいが、日常業務との兼ね合いが難しい。また、受講は個人の意思によるところも大きいので、職員で差が出ると思う。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・ミーティングを毎日行うことで、子どもの状態を共有している。 ・ミーティング等で事前に聞き取りを行い、目標や対応など検討している。 ・全員でミーティングを行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・集団・個別各々の課題を意識して活動を考えている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・個別支援の記録は共有している。	・これから導入予定。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			・本人・家族支援はなされているが、地域支援についてはこれから導入予定。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・職員同士で話し合うことができています。	・外出のプランについては、代替案も含めより細かい準備が必要。 ・全員で考えるのが難しいことしばしば。リーダーを決めて、担当割を取り入れている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎日のスケジュールを、あらかじめ数種類設定している。 ・毎日違う活動である。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・各自、議題に上げスタッフ間で話している。 ・毎朝のミーティングで行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・次の日の朝のミーティングで行っている。	・送迎の関係上、全員での振り返りは難しいが、その際は朝のミーティングにまわす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・毎日記録あり。 ・その日のうち（遅くとも次の日）に保護者に活動の様子を公開している ・子どもの様子を記録する場所をもうけている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		・事業所の認知度を上げる活動必要。 ・受身ではあるが行っている。こちらからも働きかけたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		・情報共有、相互理解を図っていききたいが、まだ体制が整っていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		・情報共有、相互理解を図っていききたいが、まだ体制が整っていない。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	・保護者から伺っている。	・今後行っていききたい。 ・情報共有、相互理解を図っていききたいが、まだ体制が整っていない。
	29	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・現状難しい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・完全な共通理解までは至っていないと思う。

	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・ペアレント・トレーニングまではできていないが、モニタリングやその他の相談で情報提供等を行っている。 ・家族からの相談や、モニタリングで情報提供等を行っている。	
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・送迎時が多いが適宜、電話などで話している。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・年1回、親子参観の形で実施した年もある。(今年は10月に実施した) ・年1回、発表会なども行っている。	・開催したいが、実行できていない。 ・両親が働いているところが多いので開催が難しい。
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・連携を取りおこなっている。 ・当日対応できる中で行っている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎日更新するよう心掛けている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・さらに、地元への買物支援等で交流をはかりたい。 ・地域のお店に協力してもらい、買い物体験できたらよい。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・家族参加を促していきたい。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・月1回しっかりと防災訓練を計画している。 ・少しずつ防災グッズをそろえている。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・保護者と細かく連絡をし、食して良いものを確認している。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・今後早いうちに再度周知したい。

48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		・身体拘束をする子どもがいないため、未経験。